

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 4 月 24 日
事業所名	フレンズハウス草平
事業所番号	2371000973
記入者名	職名 管理者 氏名 立崎 みどり
連絡先電話番号	052-361-5090

自 己 評 価 票

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく、暮らしていけるように、ホームでは、我が家のように、笑顔に満ちた暮らしが出来るように、事業所独自の理念をつくりあげている。	○	現在の理念はホームでの暮らしが中心の理念である為、地域との関わりも理念に取り入れていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	○	理念の共有と実践にむけて、よりいっそうの知識向上に努めていきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事業所は利用者様の御家族様や地域の方々の理解して頂けるように、取り組んでいる。	○	現在、地域の方々にはフレンズ便り、御家族様には、フレンズ通信を発行させていただいている。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者、職員は隣近所の方々と挨拶をかわしたり、気軽に立ち寄っていただけるようにつとめている。	○	利用者様の趣味を活かした、作品展等開催し、地域の方々にも見ていただける様な計画をしている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は孤立することなく地域の一員として自治会、老人会などの行事など地域活動に参加し、地域の人々との交流する事に努めている。	○	地域の行事には進んで参加していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者への支援をしながら、地域に役立つ事がないか、話し合い取り組んでいる。	○	公園の草取り等、地域活動をしている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	○	評価を受ける事についての勉強会をしたり、改善など、その都度話し合い、質の高いサービスをめざしている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では利用者やサービスの実情、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、出された意見をサービス向上にいかしている。	○	2ヶ月に一回、地域運営推進会議を行っている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市町村担当者と運営推進会議意外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に努めている。	○	事業所についての理解を深めて頂くため、情報交換等につとめている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者、職員は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い必要な人には、それらを活用できるよう支援している。	○	現在2名の方が利用している。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は利用者の安全に努め、虐待防止に取り組んでいる。	○	虐待については常に、学ぶ機会を増やし、安心して暮らしていけるよう、努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、利用者様や御家族様の不安、疑問に対して、十分な説明を行い理解・納得をしていただいている。	○	入居された後でも、疑問・不安・意見等には十分な説明をさせていただいている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部に表現できる機会を設け、それらを運営に反映させている。	○	入居者の意見などに職員が耳を傾け、話し合い運営に反映している。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	事業所での暮らしぶり、健康状態金銭管理、職員の異動等、個々に合わせて報告している。	○	報告を兼ねて、利用者さまの行事等の写真を掲載した、フレンズ通信を発行している。また必要に応じて、連絡を取り合っている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに、外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	○	御家族が意見を表しやすい雰囲気作りに努めたり、アンケートにて意見を求めたり、それらを運営に反映させている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	○	毎月の運営会議を行うとともに、職員が意見を表せる雰囲気作りに努めている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様、御家族様の状況の変化、要望に柔軟な対応が出来るよう、必要な時間帯に職員を確保できるような、話し合いを行い、勤務の調整に努めている。	○	急な状況変化等が起きた場合の職員の確保や調整について、話し合い、理解していただいている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は利用者様が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑えるよう努力している。また、いたしかたない場合には、利用者様へのダメージを防ぐ配慮をしている。	○	職員の異動は極力控えるようにしている。また、職員のコミュニケーションを大切にし、離職者を少なくしている。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は管理者、職員を育成する為の計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらの知識向上につとめる。	○	法人内、外研修を積極的に行っている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は管理者、職員が地域の同業者と交流する機会を持ちネットワーク作りや勉強会等をし、互いにサービスの質の向上に向けての取り組みをしている。	○	グループ協議会、定例会等に参加し、同業者との交流を図るとともに、知識向上に努めている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は管理者や職員のストレスを軽減するための工夫をしている。	○	運営者は管理者の相談に乗り、管理者は職員の相談に耳を傾ける、努力をしている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は管理者や職員の知識向上の努力や勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	○	管理者、職員が学びたい事柄を受け入れ、研修活動をしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居するまでに、本人の希望、不安等を本人自身から、しっかりと聞き取りをし、安心できるように努める。	○	本人と面接をし、お話をし、不安や悩みが和らぐように努めている。また希望にも出来る限り添えるように努力している。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居するまでに、本人も交え、家族の希望、不安等をしっかりと聞き取りをし、安心できるように努める	○	面接をしっかりとし、不安、悩み、希望を聴き受け止め、安心していただける様に努める。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、必要なサービスは何かを見極め、他事業者のサービスを紹介したり、調整している。	○	他事業所との連携を取りやすくする為に、勉強会等、交流を深めることに努める。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が納得出来る様に、体験入所を行ったり、事前に生活リズム等、聞き取りし、徐々に馴染んでいただける様に努めている。	○	利用者様の生活のリズムを尊重しながら、馴染んでいただく様に援助している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員はその人が出来る事を見つけ出し、共に暮らす家族の様に支えあいながら、出来ない部分を援助している。また、昔ながらの知恵等を教えていただき、暮らしに役立てている。	○	色々な事柄と一緒に経験し、喜びを共に出来るようにしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は御家族様に対し、日々の状況を報告すると共に、問題が発生した場合には共に考え、利用者様を共に支えていける様に努めている。	○	行事等、御家族様にも参加して頂いたり、共に喜びを分かち合っている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの関係を尊重しながら、良い関係が築けるように、援助している。	○	御家族様の状況や、心理状態の把握に努め、無理はさせず、情報提供等、細かい部分で連絡を取りながら、支援していく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の馴染みの人がいつでも、来られるように、開放的な空間作りに努めている。馴染みの場所にも、出来るだけ出かけられるように援助している。	○	友人などが気軽に立ち寄ることが出来るように、職員、環境共に開放的にしている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は利用者様同士が良い関係が作れるように、間に入り援助したり、見守りにて支援をしている。	○	居室に閉じこもりがちな利用者様に対して、職員が声を掛けながら皆様と交流出来るように、援助している。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了した場合でも、継続的に関わりを必要とされる方々には必要に応じて支援している。	○	情報提供等、求められた場合には、援助したり、時には、交流の場に参加できるようにしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	センター方式を取り入れ、把握した内容を記録にのこし、役立てて行こうと考えている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	センター方式を取り入れ、把握した内容を記録にのこし、役立てて行こうと考えている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	日々の暮らしの中で、出来る事を見つけられるよう観察し発見出来る様に努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○	カンファレンスには出きるだけ御家族様も参加して頂ける様に日程を決めている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	職員が介護計画の内容をしっかりと把握し、自覚を持って援助する。ケアプランチェックなどを行う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録に残し、職員が情報の共有に努める。	○	ケアプランチェック表にてケアプランの実行を確認している。またセンター方式も取り入れていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る限り、利用者様、御家族様の要望に答えられるように支援している。	○	利用者様、御家族様の意思を尊重している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方々に協力を得ながら、支援している。	○	地域の行事には進んで参加している。ボランティアの方々にも来て頂き、交流を深めている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所との交流や、勉強会などに積極的に参加している。	○	グループ協議会、定例会等に参加し、同業者との交流を図るとともに、知識向上に努めている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域の権利擁護などを利用して頂きながら、支援している。	○	現在2名の方が利用している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週一回、提携している医院が往診に来て下さる。他に馴染みの病院に通院も利用者様の意思を尊重している。	○	馴染みの病院がよいとの事で通院されている利用者様もあられる。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医院の先生と相談し、診察、治療を行っている。	○	現在は認知症専門の医師ではないが、専門医の意見なども聞ける機会があればと思う。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員は居ないが、提携医院の看護師に状況説明したり、相談したりしながら、支援している。	○	食事のバランスなど、医療的な意見をいただき、参考にしている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中には、経過などの情報や、本人の状態の把握に努めている。	○	病院側からの情報提供を求めたり、御家族様と連絡を密に取り合っている。またホームでは職員にも説明し、利用者様が戻られた際に安心して過ごせる様に支援している。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者様と関わりを持つ方々と、状況の変化に合わせて話し合いの場を設けている。その結果として同じ方向性で職員が支援している。	○	医師の指導の元御家族様と話し合いながら、支援している。これからはターミナルケアについての勉強をして行きたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々の変化等、医師、御家族様に連絡をとりながら、また職員の心構え等も検討している。	○	職員同士が情報を共有し今後に備えている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	転居等される際には、出来る限りの情報提供を行 う。転居後であっても、必要に応じて支援してい る。	○	情報提供を求められた際には、協力をしている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーを損ねない様に援助し ている。記録書類も保管に注意している。	○	個人的な、お話は居室にて行う。声かけ等を行 い、個人のプライバシー保護につとめている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている	利用者様の話を傾聴し、想いを理解した上で、利 用者様個々に合わせた説明をしながら、暮らしの 支援をしている。	○	出来る限り、利用者様の話を聴き、本人の想いを 尊重出来る様にしている。決め付けるのではな く、理解する努力を心がけている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	ホーム独自のタイムテーブルはあるが、利用者様 の状態に合わせてその人らしさを尊重するよう に、努めている。	○	入浴時間は個々の希望時間に合わせて対応してい る。ティタイム等、声かけはするが、強制するの ではなく、時間をずらす等して対応している。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	個々の意思を尊重できるように支援している。理美 容については、訪問理美容師が来てくださってい る。	○	利用者様の意見を聞きながら、訪問理美容師にて 対応している。パーマ、毛染め、カットなど利用 者様の意思を尊重している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好き嫌いを把握し、メニューの工夫をしている。また、自分で作る喜び、持っている力を発揮できるように、職員と一緒に食事や、おやつ作りをしている。	○	月1回の「おやつを作ろう」クラブにておやつ作りをしている。また日々のメニューでは、作り方を教えてもらったり、一緒に作ったりしている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	メニュー作りの際には利用者様の食べたい物を聞いたりしながら、献立づくりに反映させている。	○	個々の居室にて冷蔵庫など持込も出来るので、それぞれに好きな食べ物飲み物は楽しんでいただける、ただし賞味期限や体調面を考慮しながらの支援である。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来るかぎりオムツに頼らずにすむように、排泄パターンの把握に努め声かけなどにて支援している。	○	失禁された場合には、周りに気づかれないような配慮をしながら、本人が傷つかないように支援している。またオムツは出来る限り使用しないようにしている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望に合わせて入浴していただいている。	○	入浴がなかなか進まない利用者様には、タイミングを考えながら対応している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者様が安心して休まれるように、支援している。	○	居室の室温や明かり、寝具等状況や意思を尊重しながら、調整し、支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人らしく、誇りを持って暮らせるように、出来る事、出来ない事の把握に努め、何かしらの役割を持っていただき、楽しみにつながる様に支援している。	○	お料理作り、食器洗い、多少の力仕事など、その時々に応じて、手伝っていただいている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	基本的には金銭は管理させていただいて いるが、買い物等時には、職員の見守り にて使えるように支援している。	○	写真が趣味の利用者は見守りにて、現像、引き 伸ばし等をお店に行き依頼している。また行 事、旅行に出かけた際には、個々の思い出に 残る品物を買ったり、出来るように支援して いる。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	ホーム内だけで過ごすのではなく、散歩に出 かけたり、外出行事を取り入れ、色々な経験 をしていただくように努めている。	○	一人ひとりの希望、状態に合わせ散歩は随 時行けるようにしている。旅行など大掛かり な行事等も毎年行っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支 援している	外出行事にて対応している。また利用者様 の意見も取り入れられる様に、日頃の会 話を大切にしている。	○	今年はマンツーマンに近い形でイチゴ狩り に出かけた。農園への説明を兼ねた下見等 を行い、理解して頂ける農園をさがしたり、 利用者様、職員が共に楽しめる行事を考 えている。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支 援をしている	電話をかけたり、手紙のやり取りが出来 るように、一人ひとりに応じた支援をして いる。	○	電話については、御家族様の状況を職員 が把握したうえで、希望にそうように支 援している。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの 人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居 心地よく過ごせるよう工夫している	色々な方々がいつでも遊びに来られる ような雰囲気作りに努めている。	○	御家族様はもとより、友人、知人の方々 も良く来て下さり、他の利用者様とも顔 なじみになられて会話などして下さって います。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、身 体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会などにて、理解出来るように努 めている。拘束、強要はしないケアをして いる。	○	身体拘束はしていない。会話を重要な ものとして、個人を否定しないケアを心 がけている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけずに開放的な空間作りに努めている。	○	これからも開放的な空間作りを継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーに配慮しながらも昼夜を通して所在や状態の把握に努め、安全に暮らせるよう支援している。	○	夜間は1時間ごとの巡視をし、日中も居室にて過ごされている時など、様子を見に行くなどしている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品等は、職員が情報を共有するなどして、危険を防ぐ様にしている。	○	アルコールを飲む事により、他利用者様に迷惑を掛ける可能性のある利用者様には、ノンアルコールにて対応し、一日一本でと約束をして、飲み物は職員にて預らせていただいている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会などにて、知識向上に努め、マニュアルとして職員がいつでも見る事が出来るようにしている。	○	緊急時の対応、非難訓練等、随時話し合い、行っている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	内部研修、外部研修に積極的に職員に参加していただいている。また研修後にはホームにて参加出来なかった他の職員に報告などしている。	○	研修には職員に参加していただき、研修後には報告を兼ねて、勉強会を開いている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地震、火災等に備えて避難訓練を実施している。	○	五月に、夜間帯を想定した火災発生の避難訓練を予定している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	御家族様との連絡を密にし、利用者様の状況を伝えながら、今後の事も含め話し合いをしている。	○	利用者様の变化や体調等、御家族様にはその都度、連絡をしている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、職員、医師、御家族様と情報の共有に努めている。	○	異常を発見した場合には、医師に連絡をし、指示の元で対応している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の既往歴、現在の疾病、薬の処方など、職員がいつでも確認が取れるようにしている。また症状の変化等も記録を取るなどし、把握に努めている。	○	薬の変更などが、あった場合には申し送る等し情報の共有につとめている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の予防の為に、食事の工夫をしたり、水分でミネラル分を多く含むものを使用したりしている。運動は無理をさせず、暮らしの中での自然な運動を心がけている。	○	ミネラル分を含む水にて水分補給をしている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの促し、利用者様に応じた援助をしている。	○	定期的な歯科受診をし、口腔ケア
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のバランスを考えて献立作りをしている。摂取量は、食事水分量は記録を取りながら、必要量が確保できる様に支援している。	○	利用者の状態にあわせ、ミキサーきざみにて対応している。また水分をなかなか取ろうとされない利用者様には、好み等配慮しながら支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症を理解し、色々な部分に応じて対策をたて、実行している。	○	利用者、職員の手洗い、手指の消毒を徹底している。面会に来られた方にも手指の消毒を協力していただくようにしている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防対策をし、食品など安全に使用している。	○	毎日最終で調理器具、布巾の消毒を行っている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関を開放し、御家族様、知人の方々が気軽に立ち寄れるように努めている。	○	玄関先に植物を植え、緑化をして行きたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は季節を感じられるように工夫したり、気持ち良く過ごしていただける様に努めている。	○	浴室は入浴される方が気持ちよくしう出来るように、その都度確認している。トイレは失禁の可能性のある方が使用された後に、その方を気遣うと共に他の方の為に確認をし、必要に応じて掃除をする。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブル席等、自由に過ごしていただける様に努めている。	○	気の合う利用者同士が会話などを楽しめるように支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には今までに使用してきた、馴染みの品物、好みを尊重した部屋作りに努めている。	○	利用者様の居室は、それぞれに個性があると思います。その個性を大切にしていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、よう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の空気の入替えをすると共に、その都度状況に応じて対応している。	○	窓を開ける事を嫌がられる利用者様に対しては、フローアにて過ごしている時間等をりようして対処したり、冷暖房はこまめに行っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の安全を確保しながら、自立支援できるように工夫されている。	○	手すりは、歩行の際に使用するだけでなく、簡単なリハビリに活用したりし、ADL低下の予防に努めている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	会話や活動を通して、出来る事、分かる事の把握に努め、支援に役立て、自立につながる支援をしている。	○	お料理等、一緒に作ったり、教えてもらったりしながら、出来る事を見つけ支援している。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節に応じてテラスにてバーベキュー等楽しんでもいただける様に努めている。	○	建物の周りに草花、野菜などを栽培していきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様の日々の思いを傾聴し、受容しその時々に応じて職員は対応している。御家族様や知人が気軽に来られるように、また面会に来られた方が他の利用者様とも交流したださり、とてもありがたく感謝している。職員が日々努力している結果と感謝し、これからもアットホームなフレンズハウスであり続けたい。